

## 市議団ニュース

2021年4月 No.335

このニュースは政務活動費で作成しています。  
市政へのご意見お聞かせ下さい

- 発行/日本共産党鹿児島市議団  
鹿児島市山下町11-1
- TEL. 216-1440 FAX. 225-5607
- E-mail: kyousan@kagoshimashigikai.com
- http://jcp-kagoshigi.que.jp/

たてやま清隆  
鹿児島市議会議員園山えり  
鹿児島市議会議員大園たつや  
鹿児島市議会議員火災に特化  
ガイドブック  
検討火災で被災した方への  
支援一覧の改善を！

——— 思わぬ火災によって被災された方への支援について質疑しました ———

現在、被災者に配布される一覧表「被災により被害を受けた市民の皆様へ」(A3)には自然災害で被災した時の支援策も合わせて掲載されており、被災者から大変分かりづらいと声が寄せられました。党市議が全庁調査をしたところ、本市には38の支援策(見舞金・税や保険料の減免・市営住宅の一時提供など)があるにも関わらず、この一覧には20の支援策しか示されていないことが明らかになりました。

## 被災者に配布される支援一覧の一刻も早い改善を！

被災者へ正確な情報が  
伝わるよう改善すべき！

火災で被災した方へガイドブックなどを作成し、り災証明を発行する消防とも連携し、市民に啓発するよう求めました。ガイドブックの作成については、「検討していく」との前向きな答弁でした。

○ガイドブックの作成について当局は「他都市の事例を参考に周知方法も含め検討して参りたい」と答弁。

## 被災者にこそ住み慣れた地域にある市営住宅の提供を！

火災という緊急時こそ、被災者が市営住宅に入居できるよう求めたところ、当局は「入居者募集に影響が少ないなど、管理上支障のない範囲で確保している住宅しか提供できない」と答弁。管理上支障のない市営住宅とは、星ヶ峯や武岡など、現在の住まいからだいぶ離れてしまう方もいます。

住み慣れた地域にある  
市営住宅の提供を！

住み慣れた地域やコミュニティーから離れ、土地勘のないところで安心して生活の再建が果たしてできるでしょうか。党市議は、「住まいは福祉」という立場で、被災者に寄り添った対応をするよう、強く要望しました。

○被災者が地域の市営住宅に入居できない実態を示し、住み慣れた地域での住宅確保や優先的に入居できるよう強く求めました。

生活相談

毎週月曜日 午後1時～4時  
日本共産党控室(市役所西別館3F) TEL.099-216-1440 FAX.099-225-5607

日本共産党